

校長室の窓から
一番長いといわれる2学期も、残すところ10日となりました。大きな学校行事も多く、運動会から始まり、5・6年生のバス遠足、校内音楽会、大好きニ小集会そして、12月に入って行われた持久走記録会。「楽しかったね」だけで終わるのではなく、子どもたちのステップアップした成長がみられたのが大変印象的です。

最近行われた持久走記録会では、練習の時から手を抜くことなく走る姿が見られ心強く思っていたところ、どの学年の子どもたちも自分の記録を目指してがんばることができました。1年生以外はスターターを務め、子どもたちと一緒に走りました。学生時代、体育の苦手だった私が子どもたちと走るには理由があります。一つは、つらいからといって途中でやめてほしくないからです。持久走は、苦しいものです。自分との戦いですが、特に苦手な子どもにとって少しぐらい歩いて、とか、おなか痛いからという理由で棄権してしまおう、とかいった気持ちが出てきます。持久走はまさしく自分との戦いであり、そういった気持ちとの戦いです。くじけそうになったとき、横で励ましてくれる人がいれば乗り越えられるのではないかという思いが、一緒に走る理由でもあります。つまり、ひとりでは走れなくても、誰かと一緒に走れば走れるのではというのがもう一つの理由です。持久走だけでなく、あきらめないこと、そして傍らで励ましてくれる人が必要、といったことにはあてはまることは多いのではないのでしょうか。小学生ですから、目の前にあるハードルはそれほど高いものではありません。毎日の宿題であったり、部屋の片付けであったり、あるいは友だちとけんかをしたり、忘れ物をして困ったり、などなど。わざと子どもの前にハードルを高くして置く必要はありませんが、勝手にハードルを取り去ってもだめだと思えます。障害をなくすのではなく、乗り越えることを教えること、そして傍らで見守る人がいることが大切なのだと考えます。伴走者、つまり家族や友だち、先生方が自分のことを見てくれている、励ましてくれている、叱ってくれる、褒めてくれる、といった気持ちを持つことが子どもたちにとって何よりうれしいことなのだと思います。そして、乗り越えたとき自信を持つ、この自信が次のハードルを越える原動力になるのです。



4年生持久走記録会

「胸を張って堂々と生きていくために必要なもの」の一つは自信だと思います。人は弱いもので不安になるとついつい人と比べて自信をなくしたりします。だからこそ、ほんの少しでも認めてほしい、そうすると安心できるのです。子どもたちに、「乗り越える気力と実力をつけてほしい、たとえハードルに引っかけたとしても立ち上がる気持ちをもってほしい」と切に願っています。そのために、私たち教職員は常に子どもたちのよき伴走者でいたいと思います。

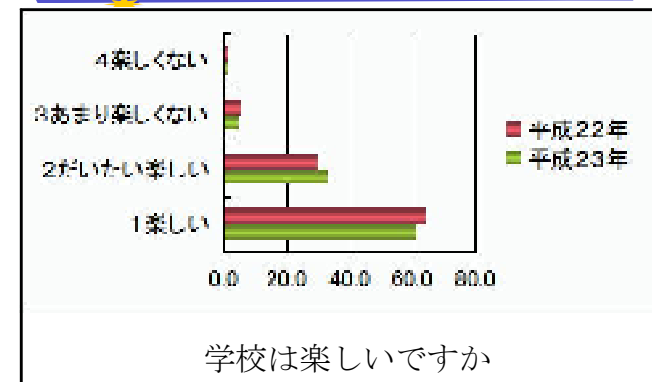


5年生持久走記録会

2011年は、自然の力を見せつけられたような1年でした。子どもたちは自然の厳しさを受け入れながら、持てる力を存分に発揮するとともにステップアップしてきました。3学期はそのまとめをしてくれることでしょうか。保護者・地域の皆様のご協力感謝申し上げます。皆様にとって来年もよい年でありますように。

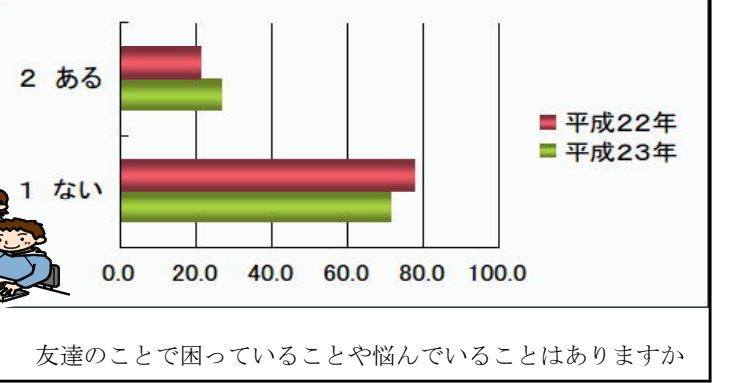
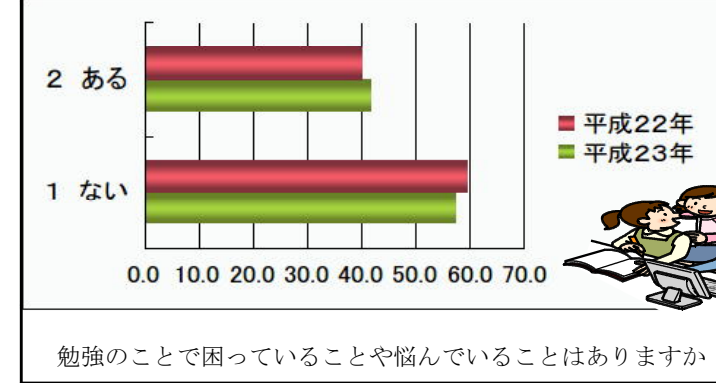
◆今年度は各教室にストーブが入りました。◆
昨年度は全館一斉の集中暖房でしたが、地震によって通気口の損壊や配管にひび割れ等が生じたこと、また体育館が避難所に設定されているため、その暖房器具確保が必要なこと、といった理由によるものです。
各教室の実情に合わせて暖房が使用できるのはいいことです。換気と安全に配慮しながら使っていきたいと思っています

学校生活アンケートから



昨年度と同様な内容で、学校生活について子どもたちにアンケートをとりました。大きな違いは見られませんでした。

- 先生や学校にお願いしたいこと
- ・休み時間を確保するために、授業終了時刻を守ってほしい。
 - ・宿題を減らしてほしい
 - ・宿題を少し増やしてほしい
 - ・もっと勉強を難しくしてほしい
 - ・理科、図工、体育の時間を増やしてほしい
 - ・テストを早く返してほしい
 - ・友達のこと話を聞いてほしい
- 等々



お家（うち）のことで困っていること

- ・悪くないのに悪いと言われる
 - ・自分から進んで勉強ができない
 - ・兄弟仲良くしたいのにできない
 - ・習い事があると、宿題ができない
 - ・音読を聞いてほしい
 - ・手伝いができない
 - ・家族で仲良くしたい
- 等々

子どもたちの見る眼は時としてシビアなものです。先生や家族に対して年齢を追うに従って批判的になってくるのも成長の証だと思います。

でも、私たち大人は「子どもの言っていること」と捉えず、もう一度振り返ってみたいと思います。自由記述欄を読むと、子どもたちが「自分たちの方をもっとよく見て」と訴えているようにも思いました。

二小のホームページをごらんになったことがありますか



二小のホームページのアドレスは、「二小だより」の下に記載されています。Yahoo!にて「土浦第二小学校」で検索しても見ることができます。

- ・学校紹介
 - ・児童の活動
 - 日常のようすがアップデートされています。
 - ・学校だより
 - 月々の学校だよりが見られます。
 - ・保護者のみなさまへ
 - 校外生活について
 - 家庭学習のすすめ
 - 放射線について
 - 緊急時の下校
 - 保健室から などなど
 - ・施設貸出
 - 体育館やグラウンドの貸出状況を見ることができます。
- ぜひ一度、アクセスしてみてください。

